

やましんかわら版

やましんかわら版は
山新販売店と読者を結ぶ
ミニコミ紙です



発行部数 9万7,000部

毎月5日発行

新聞休刊日のため11月13日(月)付朝刊はお休みさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

かわら版編集部
〒990-2323 山形市桜田東二丁目3-8-7
《ホームページ》<http://www.yamashinhanbai.jp/>
《メール》kawaraban@yamashinhanbai.jp
読者お問い合わせ窓口
TEL.023-635-6111 (山新販売内)



古くからワイン用ブドウの産地として、広く知られる存在だった上山市。その強みを生かし、新たなワイナリーが生まれようとしています。

2017 ラストゲーム

モンテディオ山形を
応援しよう!!
ホームゲーム日程



会場/NDソフトスタジアム山形

節 対戦カードと日時

第42節 11/19(日)16:00
FC岐阜



チケット販売中

今月の
いちばん
情報!!

ブドウよ、地域の未来を担え! ワイン特区の今を追う。

2016年、上山市と南陽市、県内にふたつのワイン特区が誕生しました。酒税法が定めるワインの最低生産量6キログラムを3分の1に緩和するというそれは、小さなワイナリーの起業を可能とし、山形の豊富な果樹を用いた新たな産業を興そうとするもの。今月は、近年ワインバルなど活発な動きを見せる上山市にお伺いし、その最新事例をどこよりも早くかわら版でご紹介します。

お伺いしたのは、障がい者、高齢者の生活支援を進める社会福祉法人『友愛会』。上山市のワイン特区認定を受け、参画を表明した企業です。どのようなビジョンを持ち、また、その目指す方向とは一体。

Q、なぜ、ワイン醸造事業への参画を決めた?

▶(友愛会)私たちの事業は、障害者の生活を支援することです。一般的に介護が中心となりますが、根本的な支援とはなにかを考え、障がい者の皆さんも自ら働けるような環境が必要なのではと考えるようになりました。そこで以前から興味があったワインに着目し、他県で先駆的にブドウ栽培とワイン醸造に取り組む企業を視察していた矢先、上山市がワイン特区の認定を受けたの

です。これはチャンスと思い、すぐに手を挙げさせていただきました。

ワイン作りはブドウ栽培から始まり、ほぼ1年を通して作業は続きます。すべてを、という訳には行きませんが、その都度彼らが働ける作業が生まれます。一般の方、障がいを持つ方がお互いに作業を補いながら、自然と向き合い仕事ができる。そして、成果物であるワインができたなら、やりがいにもつながるのではないのでしょうか。今年度の作業は、まだ職員による試行段階。1年、2年後にはワイナリーを作ろうと、全社一丸となって計画を進めています。

Q、越えるべきハードルなどは?

▶(友愛会)25㌦の農園で職員たちがブドウを栽培。来年の販売に向け、障がい者の方の自立への一歩に願いを込めたワイン『ファーストステップ』が、現在出荷の時を待ちながら熟成段階に入っています。ここで、私たちにとってのハードルは、来年度からどの方にとどの作業を担ってもらえるか。安全性を第一に考えながら、事業を進める必要があります。もしかしたら作業的には農機具を投入の方が効率的。でも、それよりも障がい者の方が活躍できる仕事を作りたいのです。私た

ちとしては障がい者の方が働ける場ができることで、介護の側面でも良い影響が出るのではと期待しています。上山市には良いブドウがある。後は働き次第。彼らだから作れるブドウ、そしてワインがあるのではないのでしょうか。幸いなことに、上山市役所は、ワイン作りの知識が少ない私たちに代わって、法的な問題や栽培上の課題に対し、とても積極的に動いてくれます。それを頼りに、事業を進めたいです。我々の事業に参加したい方、興味がある方がいれば、ご連絡いただければ幸いです。

Q、特区認定からの動きは?

▶(上山市)県内や県外の個人・企業から、ワイン作りを始めたいという問い合わせが増えてきました。近年、農業の生産者数自体が減少していますので、新しい活発な産業としてワイン醸造がひとり立ちし、農業の担い手が増えてくれればと思います。そして上山市がおいしいワインの生産地であるという認知が広まり、さらに発展していければ幸いです。上山ワインのこれからの、ぜひ期待してください。

社会福祉法人 友愛会

住所/山形市みはらしの丘4-15-3
電話/023-687-1016



左/友愛会の理事長荒井与志久さん(右中央)を始め、多くの方にお話をいただきました。

右/今年の収穫の様子から。障がい者の方々も、いきいきと作業されていたとのこと。自然との触れ合いと労働の喜びは、彼らにとってかけがえのない財産となるのでは。

